

## 新型コロナウイルス

新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかからず、政治・経済・社会に大きな影響を与えています。我々、中小企業の社長の取るべき対応をまとめました。参考になさってください。

先ず、第一に社長たる者『まさか!』とは、口が裂けても言わないことです。

どんなことでも、慌てず、腰を落ち着けて対応して下さい。社員が安心します。

“治にいて乱を忘れず”天変地異や、政治的混乱・社会的変化は、いつ、どこで起こるか判りません。従って日頃から、健全な危機感を持ち、確実に利益を出し、資金的余裕を持つておくことです。少し利益が出たからと、有頂天になり、脇を甘くしないことです。考えられるリスクは、すべて拾い出し、出来る限り具体的な対策を打っておくことです。

今やサプライチェーンが、世界に拡散しています。部品一つ足りないために、工場が動かず、人手が余るといふ現実があります。

中国野菜の輸入が激減し、建築資材も不足しています。当面は、代替品や、省力化や、稼働調整で対応するしかありません。しかし、本質的には、国防・安全保障の面からも、国内生産の重要性を見直すことです。

現に、林業は疲弊し、山林は荒れ放題です。日本が誇る、木造建築は、このままでは衰退するしかありません。「漆（うるし）」も、国内産を復活すべきです。

食糧に於いては、尚更です。

当面は、資金手当てを十分に、長期的に手当てする必要があります。メイン銀行と、早急に、綿密に打ち合わせをして下さい。政府は、短期間に終息すると予想していますが、我々実務家は、長期間（最低一年間）耐えられる覚悟を持ちましょう。

「大変」とは、大きく変わると書きます。ピンチはチャンスです。次への準備をするタイミングでもあります。

長期的にも、本質的にも一番大切なことは、「社員教育」です。あまりに迂遠な問題なために、つつい先送りして来ました。

そもそも、何故仕事に、熱く燃えて取り組む必要があるのか。目の前の仕事に夢中になるとは、どういうことか。社長が、経営理念を熱く伝えることです。

例えば、“金がないと、人生の選択肢が狭くなる”ことについて… 一回限りの人生です。この貴重な、二度無い人生を、心豊かに、幸せに、完全燃焼して生きたいものです。我々は人生の大半を仕事に使います。その仕事が、楽しく、愉快地に、生き活きできれば幸せです。同時に一所懸命働くから利益が出る。そして給料が増える。人生の選択肢が増える。どんどん良いスパイラルになります。

私ども、中央総研も、ようやく、このレベルに達しました。30年かかりました。

社長、今こそ『社長力』が試されます。明るく、勇気と希望を持って前進して参りましょう。私共が、全力で、応援して参ります。



### 今月のポイント

天下の事、万変といえども

喜怒哀楽の四者を出でず

王陽明